

自己評価および外部評価結果

事業所名

ふるさと敷島

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(東)	ユニット名(西)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営						
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「ちいきにとけあい、いきいき暮らし、きごころ知れた仲になる」(ち・い・き)を理念に掲げ、全職員が日々の支援の中で心がけている	「ちいきにとけあい、いきいき暮らし、きごころ知れた仲になる」(ち・い・き)を理念に掲げ、全職員が日々の支援の中で心がけている	理念をより確実に実践する為に「起きる・食べる・排泄する・清潔にする・活動する」の5つの基本ケアを玄関や事務室に掲示し毎月の職員会議で共有している。職員は、利用者の求めている事が各自違っている事を意識してその人の気持ちに沿った支援に努めている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自身が地域の一員として日常的に交流している	自治会に入り、地域の行事やお祭りに参加している。日々の散歩などで声を掛け合いなじみの関係もつづられている。	自治会に入り、地域の行事やお祭りに参加している。日々の散歩などで声を掛け合いなじみの関係もつづられている。	事業所の夏祭りは近隣の方たちにも声掛けし、また地域の夏祭りには参加する等して交流を図っている。定期的な踊りや歌のボランティアの他に突然に来訪するボランティアも受け入れている。幼稚園の散歩コースで園児の立ち寄りがある等、地域とは日常的に交流している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の民生委員さんからの相談もあり、具体的な内容についてアドバイスしている	地域の民生委員さんからの相談もあり、具体的な内容についてアドバイスしている		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこで意見をサービス向上に活かしている	二ヶ月に一度、運営推進会議を開催している。毎回活発な意見交換がされている	二ヶ月に一度、運営推進会議を開催している。毎回活発な意見交換がされている	運営推進会議は、年間計画を知らせて参加委員が出席しやすい様に配慮している。委員の意見から地域の方たちと一緒に地震体験車に乗る体験が出来た。また、地域のボランティアの活用についての意見からハウイアンダンスの訪問や、老人クラブの方々による畑の草刈りのボランティアに繋がった。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議のメンバーとして参加していただいているため相談や意見など気軽に話すことが出来る	運営推進会議のメンバーとして参加していただいているため相談や意見など気軽に話すことが出来る	市の主催する研修会には積極的に参加している。新入居者の居住地について相談したり、市からは介護相談員の訪問もある。事業所として15年の経験もあり市とは顔見知りの関係が出来ていて事業所の現状を把握してもらっている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介護指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束廃止推進担当者を中心に会議を開催し、全職員が「身体拘束はしない」という信念を理解、実施している	身体拘束廃止推進担当者を中心に会議を開催し、全職員が「身体拘束はしない」という信念を理解、実施している	5名の委員の下で職員は身体拘束についての理解が出来ている。「待っていて！」「だめ！」という行動を制止する言葉もお互いに注意し合い、使うことはない。職員2人の夜勤も二つのユニットで協力し合える設備と体制づくりが出来ており職員は心のゆとりが持っている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることのないよう注意を払い、防止に努めている	市で実施している研修会に参加し、施設内でも勉強会を実施している。職員間で声を掛け合い危機感を持って虐待防止に努めている	市で実施している研修会に参加し、施設内でも勉強会を実施している。職員間で声を掛け合い危機感を持って虐待防止に努めている		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	市で実施している研修会に参加し、施設内でも勉強会を実施している。ご家族から相談を受けることもある	市で実施している研修会に参加し、施設内でも勉強会を実施している。ご家族から相談を受けることもある		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入所時や改定時は書面と口頭で時間をかけて説明している。疑問や不明な点があった場合にはいつでも連絡していただけるよう、ご家族に伝えその際には速やかに対応している	入所時や改定時は書面と口頭で時間をかけて説明している。疑問や不明な点があった場合にはいつでも連絡していただけるよう、ご家族に伝えその際には速やかに対応している		

自己評価および外部評価結果		事業所名	ふるさと敷島	外部評価		
自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
			ユニット名(東)	ユニット名(西)		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱を設置し、意見や要望を日常的に受け入れる体制をとっている。ご家族との会話の機会を多く持ち、話しやすい雰囲気作りに努めている。家族会で頂いた意見や要望については速やかに職員会議で検討し改善につなげている。	意見箱を設置し、意見や要望を日常的に受け入れる体制をとっている。ご家族との会話の機会を多く持ち、話しやすい雰囲気作りに努めている。家族会で頂いた意見や要望については速やかに職員会議で検討し改善につなげている。	年2回の家族会は、意見が出やすい様に職員は席を外している。そこでの意見については検討し、後日全家族に送付している。季節を感じさせる行事とか食事等についての意見には早速に対応している事を伝え、ホームページで事業所の日常の様子を知らせている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員会議を定期的実施し、意見や要望を自由に申し出せる機会を作っている。	職員会議を定期的実施し、意見や要望を自由に申し出せる機会を作っている。	毎日の申し送り・月2回の職員会議や年2回の管理者との面接以外にも随時意見が言いやすい環境である。行事や外出の提案も出来る。備品の購入希望があり加湿器や掃除道具を購入した。勤務表作成前に希望休の申し込みや、急な休みにも調整し対応している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員の実績及び勤務状況を把握し、給与水準等、向上心を持って働ける職場環境の整備に努めている	職員の実績及び勤務状況を把握し、給与水準等、向上心を持って働ける職場環境の整備に努めている		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	自主的に事業所内外の研修に参加するよう促している。研修の内容にかかわらず、全て勤務扱いで受講している。	自主的に事業所内外の研修に参加するよう促している。研修の内容にかかわらず、全て勤務扱いで受講している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協会の研修を通し、交流を図り意見交換を行っている。	グループホーム協会の研修を通し、交流を図り意見交換を行っている。		
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援						
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用者様の生活歴や現在の状態をよく理解した上で、ご本人やご家族の思いをよく聞き、新しい環境への不安を少しでも取り除くことが出来るよう個別に対応、ゆったりとした時間をつくり工夫している	利用者様の生活歴や現在の状態をよく理解した上で、ご本人やご家族の思いをよく聞き、新しい環境への不安を少しでも取り除くことが出来るよう個別に対応、ゆったりとした時間をつくり工夫している		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご本人の状況やご家族の思いをよく聞き、思いに添う支援が出来るよう努めている。入所当初は特にどう過ごしているのか・・・など不安が多いと思うので生活状況や体調など1週間は毎日報告している。	ご本人の状況やご家族の思いをよく聞き、思いに添う支援が出来るよう努めている。入所当初は特にどう過ごしているのか・・・など不安が多いと思うので生活状況や体調など1週間は毎日報告している。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人、ご家族の話をよく聞き、思いや要望に添った具体的な支援内容を全職員で検討しサービスにつなげている	ご本人、ご家族の話をよく聞き、思いや要望に添った具体的な支援内容を全職員で検討しサービスにつなげている		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員は利用者様一人ひとりの生活歴や身体、心身状況を把握し支援している。人生の先輩である利用者様を尊敬し、職員は常に学ぶ姿勢で生活している	職員は利用者様一人ひとりの生活歴や身体、心身状況を把握し支援している。人生の先輩である利用者様を尊敬し、職員は常に学ぶ姿勢で生活している		

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己評価および外部評価結果		事業所名	ふるさと敷島		外部評価	
自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
			ユニット名(東)	ユニット名(西)		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、 本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支 えていく関係を築いている	利用者様の状況や変化をご家族に報告し、ご家族 と職員が同じ気持ちで利用者様を支えることが出 来るよう支援している。	利用者様の状況や変化をご家族に報告し、ご家族 と職員が同じ気持ちで利用者様を支えることが出 来るよう支援している。		
20	(8)	○馴染みの人や場所との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場 所との関係が途切れないよう、支援に努めている	友人や親戚の方々の面会や、一緒に外出を楽しむ ことが出来る支援をしている。	友人や親戚の方々の面会や、一緒に外出を楽しむ ことが出来る支援をしている。	馴染みの人や場所については入所時に把握し、さらにそ の後の生活の中から把握している。友人との手紙のやり 取りや馴染みの床屋、彼岸の外泊等がある。大切な家 族との絆が途切れない様に面会の少ない家族には来所 を促す様な働きかけをしている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せ ずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような 支援に努めている	日常生活のかかわりの中で利用者同士の関係を 把握し、孤立しがちな利用者様には職員が寄り添 い他の利用者様とのかかわりのきっかけになるよう 支援している	日常生活のかかわりの中で利用者同士の関係を 把握し、孤立しがちな利用者様には職員が寄り添 い他の利用者様とのかかわりのきっかけになるよう 支援している		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関 係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族 の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所された方の家族から相談を受けサービスを利用 している方がいる。継続的に関係を保ち困りごと などの相談にも都度対応している	退所された方の家族から相談を受けサービスを利用 している方がいる。継続的に関係を保ち困りごと などの相談にも都度対応している		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握 に努めている。困難な場合は、本人本位に検討し ている	日常のかかわりやご家族などの話の中から利用者 様の思いや要望をくみとり、職員間で情報を共有し ている	日常のかかわりやご家族などの話の中から利用者 様の思いや要望をくみとり、職員間で情報を共有し ている	定期的介護計画を作成する時は、家族と共に利用者 の意向を必ず聞いている。仏壇に水をあげたい・新聞を 読み、日記を書きたい・家にいた時と同じペースで暮ら したい等それぞれの思いに沿った支援を心掛けている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環 境、これまでのサービス利用の経過等の把握に 努めている	日常生活の会話や行動を通し、馴染みや安心のヒ ントが得られるよう努めている。過去にサービス利 用がある方は事業所から情報をいただき、より深く ご本人を理解することにつなげている	日常生活の会話や行動を通し、馴染みや安心のヒ ントが得られるよう努めている。過去にサービス利 用がある方は事業所から情報をいただき、より深く ご本人を理解することにつなげている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する 力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの一日の過ごし方や心身状況等、個別 に記録し生活リズムや変化等を把握している。定 期的にカンファレンスを行い「できること探し」に取り 組んでいる	一人ひとりの一日の過ごし方や心身状況等、個別 に記録し生活リズムや変化等を把握している。定 期的にカンファレンスを行い「できること探し」に取り 組んでいる		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方 について、本人、家族、必要関係者と話し合い、 それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即 した介護計画を作成している	ご本人や家族から思いや要望を聞き、その内容を もとにケアカンファレンスを実施している。利用者 様、ご家族の思いを重視した介護計画を作成して いる	ご本人や家族から思いや要望を聞き、その内容を もとにケアカンファレンスを実施している。利用者 様、ご家族の思いを重視した介護計画を作成して いる	入居1週間は、家族と毎日連絡し合いながら様子を見 守っている。1週間後に入居前の面接記録やケアマネ ージャーからの情報と健康診断書を基に職員参加で暫定 プランを立て同意を得る。1か月後にモニタリングし介護 計画作成。その後は3か月毎に見直している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を 個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら 実践や介護計画の見直しに活かしている	バイタル、食事摂取量、排泄の内容、表情や言葉 などに注意深く観察し記録している。職員一人ひとり の気づきを会議で出し合い介護計画の見直しにも 役立てている	バイタル、食事摂取量、排泄の内容、表情や言葉 などに注意深く観察し記録している。職員一人ひとり の気づきを会議で出し合い介護計画の見直しにも 役立てている		

自己評価および外部評価結果		事業所名	ふるさと敷島	外部評価	
自己	外部	自己評価(実践状況)		実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
		ユニット名(東)	ユニット名(西)		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	個々の状況により、ご家族の理解や協力をいただきながら要望に応じて個別に対応している。	個々の状況により、ご家族の理解や協力をいただきながら要望に応じて個別に対応している。	
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の保育園との交流会を行ったり、ボランティアを受け入れ楽しみを増やし生き生きと過ごせる支援をしている	地域の保育園との交流会を行ったり、ボランティアを受け入れ楽しみを増やし生き生きと過ごせる支援をしている	
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人、ご家族の要望に応じ、かかりつけ医を決めていただいている。	ご本人、ご家族の要望に応じ、かかりつけ医を決めていただいている。	5名はその人に合ったかかりつけ医であり、他の利用者は、希望で訪問診療を受けている。月1回歯科の往診がある。かかりつけ医への受診は基本的には家族対応であるが職員も同行している。理事長が看護師であり在駐しているので心強い。
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	施設の看護職に相談しケアを行っている。	施設の看護職に相談しケアを行っている。	
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入退院の際には病院との情報交換をカンファレンスや電話で行い、早期退院や退院後のケアがスムーズに行えるよう、家族を含め都度検討している。	入退院の際には病院との情報交換をカンファレンスや電話で行い、早期退院や退院後のケアがスムーズに行えるよう、家族を含め都度検討している。	
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入所時や折に触れ、重度化及び終末期についてご家族に希望を聞きお話している。Drとの連絡を密にとりターミナルケアを実施している。	入所時や折に触れ、重度化及び終末期についてご家族に希望を聞きお話している。Drとの連絡を密にとりターミナルケアを実施している。	今までに2名利用者の看取りを経験している。医師の判断で看取り期に入り、その後医師の指示にて対応している。看取り期は、食事の提供を含めて家族の付き添いが出来る体制がある。身体的に重度になっても入浴等の支援は可能である。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	看護職員指導のもと緊急時対応の指導を受け訓練を実施している	看護職員指導のもと緊急時対応の指導を受け訓練を実施している	
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	昼夜を想定し緊急連絡網を使い避難訓練を実施している。	昼夜を想定し緊急連絡網を使い避難訓練を実施している。	年2回の避難訓練を実施しており、1回は夜間を想定した訓練を行った。消防署に申請して火災・地震の訓練をしている。他に消防署からは、年2回抜き打ちの定期点検を受けている。水害時は事業所が平屋なので近くの2階建ての建物への避難を検討している。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりに合わせた言葉かけや対応を全職員が心がけ実施している。入浴や排泄、着衣交換時にはプライバシーを損ねないよう支援している	一人ひとりに合わせた言葉かけや対応を全職員が心がけ実施している。入浴や排泄、着衣交換時にはプライバシーを損ねないよう支援している	日常的に5つの基本的ケアを基に支援している。一人ひとりを尊重してその人に合った支援を心掛けている。方言をふまえてその人にとって心地良い言葉かけをしている。個人ファイルは、目に付かない場所に保管しホームページの写真掲載は個々に了解を得ている。

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己評価および外部評価結果		事業所名	ふるさと敷島	外部評価		
自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
			ユニット名(東)	ユニット名(西)		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者様の話に耳を傾けゆとりを持ち、「待つケア」を心がけ実践につなげている	利用者様の話に耳を傾けゆとりを持ち、「待つケア」を心がけ実践につなげている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	外気浴や散歩など希望に添った時間やタイミングでの支援を心がけている	外気浴や散歩など希望に添った時間やタイミングでの支援を心がけている		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	利用者様の好みや個性を大切に支援している	利用者様の好みや個性を大切に支援している		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	一人ひとりに合わせた食事を提供している。テーブルを拭いたり後片付けなど個々の力に応じて職員と一緒にやっている。	一人ひとりに合わせた食事を提供している。テーブルを拭いたり後片付けなど個々の力に応じて職員と一緒にやっている。	食堂は、二つのユニットの利用者が集まり賑わいがある。献立は、利用者の希望を聞きながら作成し職員も同じ食事を取っている。食事の片付けや食器洗い等は利用者が手伝っている。食材は、火曜日と金曜日に利用者と買い出しに行っている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりに合わせた食事形態を提供している。食事量、水分摂取量は職員が把握している。その日の状態や気候等により量や内容など工夫し支援している	一人ひとりに合わせた食事形態を提供している。食事量、水分摂取量は職員が把握している。その日の状態や気候等により量や内容など工夫し支援している		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアを行い、義歯の洗浄、管理をしている。定期的に歯科医による定期受診、口腔ケアの指導をしていただいている。	毎食後、口腔ケアを行い、義歯の洗浄、管理をしている。定期的に歯科医による定期受診、口腔ケアの指導をしていただいている。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄チェックを行い一人ひとりの排泄パターンを職員が把握している。誘導時間を工夫することで失禁が減り、リハビリパンツから肌着に変えることが出来た方が何人かいらっしゃる	排泄チェックを行い一人ひとりの排泄パターンを職員が把握している。誘導時間を工夫することで失禁が減り、リハビリパンツから肌着に変えることが出来た方が何人かいらっしゃる	入所時に尿意や便意のある利用者は、1週間工夫をしながら対応しオムツの使用を少なくするよう努力している。職員は、オムツの弊害を周知しており安易なオムツ使用はしない。夜間については、不眠の利用者には吸水量の多いオムツを使用して安眠を優先している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘予防も含め、毎日体操を行っている。毎日夕食時にヨーグルトを提供している。体操が困難な方には腹部マッサージを行っている	便秘予防も含め、毎日体操を行っている。毎日夕食時にヨーグルトを提供している。体操が困難な方には腹部マッサージを行っている		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	いつでも入浴できる。入浴拒否がある方でも最低週2回は入っていただけるよう支援している。	いつでも入浴できる。入浴拒否がある方でも最低週2回は入っていただけるよう支援している。	家庭的な浴槽であり、毎日でも入浴出来る体制は出来ている。入浴が嫌いな利用者には、職員間で声掛け等の情報交換をしながら無理しない対応をしている。バスクリンやゆず湯等の工夫もある。あかすりなどの刺激は避けて肌に優しい物を使用している。	

自己評価および外部評価結果

事業所名

ふるさと敷島

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(東)	ユニット名(西)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々の状況に応じ、昼寝をしたり好きな場所でくつろぐことができる支援をしている。日中は外気浴や体操で体を動かしよい睡眠がとれるよう支援している	個々の状況に応じ、昼寝をしたり好きな場所でくつろぐことができる支援をしている。日中は外気浴や体操で体を動かしよい睡眠がとれるよう支援している		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	利用者様の疾患、それに伴う服薬の用法、用量を把握している。身体状況の変化により薬の内容変更があった場合は全職員が把握するよう徹底している	利用者様の疾患、それに伴う服薬の用法、用量を把握している。身体状況の変化により薬の内容変更があった場合は全職員が把握するよう徹底している		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	利用者様一人ひとりが役割や生きがいを持って生活できるように支援している。	利用者様一人ひとりが役割や生きがいを持って生活できるように支援している。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	お墓参りや外食、外泊し自宅で家族と過ごすなど希望やペースにあわせてご家族に協力していただきながら支援している	お墓参りや外食、外泊し自宅で家族と過ごすなど希望やペースにあわせてご家族に協力していただきながら支援している	散歩・外気浴・買い物等の日常的な外出の他に桜やバラ等の花見・紅葉狩り等に出かけた。サーカスを見に行く計画も立てている。外食は、全員でなく小グループに分かれて牛丼店や中華のお店に出かけている。	
50		○お金の所持や使うこと等の支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	本人、家族の要望に応じ支援している	本人、家族の要望に応じ支援している		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	家族や知人への手紙を出すため、文章を考えたり一生懸命下書きし清書をされ楽しみにしている。電話での会話は日常的に支援している	家族や知人への手紙を出すため、文章を考えたり一生懸命下書きし清書をされ楽しみにしている。電話での会話は日常的に支援している		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	安全で快適に過ごすことができるよう環境を整備している。季節ごとの飾り付けやみんなで作成した作品などで会話が弾んだり笑顔のきっかけになるよう工夫している	安全で快適に過ごすことができるよう環境を整備している。季節ごとの飾り付けやみんなで作成した作品などで会話が弾んだり笑顔のきっかけになるよう工夫している	玄関に入るとハッカの匂いが漂い清潔感を感じる。廊下には大きな加湿器と濡れたバスタオルが掛けてあり利用者の健康管理に配慮が伺える。食堂を兼ねたリビングは、二つのユニットの間にあり利用者同士の交流の場にもなっている。過度にならない展示物や鉢植えの花からも居心地の良さを感じる。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ホーム内に何箇所かソファを置き、思い思いに自由に過ごすことが出来る空間がある	ホーム内に何箇所かソファを置き、思い思いに自由に過ごすことが出来る空間がある		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご本人やご家族の意向に添い、使い慣れた馴染みの物や仏壇など居室におくことで安心できる場所になるようにしている	ご本人やご家族の意向に添い、使い慣れた馴染みの物や仏壇など居室におくことで安心できる場所になるようにしている	居室の床材は木目調で落ち着いた雰囲気がある。エアコン・ベッド・大きな押し入れ以外は持ち込み自由で机・冷蔵庫・仏壇・ギター・ラグビーボール等の思い出の詰まった空間になっている。窓のカーテンは好みの色や模様でその人らしい居室づくりが出来ている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	「できること」の継続が可能な環境になるよう個々の状況に合わせて安全に過ごしていただくための工夫をしている	「できること」の継続が可能な環境になるよう個々の状況に合わせて安全に過ごしていただくための工夫をしている		